



2021年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年10月13日

上場会社名 株式会社アークス 上場取引所 東・札
 コード番号 9948 URL <http://www.arcs-g.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横山 清
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 古川 公一 TEL 011-530-1000
 管理部門・コーポレート部門管掌
 四半期報告書提出予定日 2020年10月13日 配当支払開始予定日 2020年11月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第2四半期の連結業績（2020年3月1日～2020年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第2四半期	282,148	9.9	10,394	74.0	11,390	65.4	7,619	69.0
2020年2月期第2四半期	256,673	△0.3	5,973	△14.8	6,886	△11.9	4,508	△13.4

(注) 包括利益 2021年2月期第2四半期 12,017百万円 (323.4%) 2020年2月期第2四半期 2,837百万円 (△46.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第2四半期	134.91	—
2020年2月期第2四半期	79.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年2月期第2四半期	251,931	155,181	61.6
2020年2月期	232,332	144,580	62.2

(参考) 自己資本 2021年2月期第2四半期 155,102百万円 2020年2月期 144,499百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2021年2月期	—	25.00	—	—	—
2021年2月期（予想）	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年2月期の連結業績予想（2020年3月1日～2021年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	545,000	5.0	15,530	28.1	17,350	26.2	10,300	49.9	182.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

詳細は、添付資料P.9 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年2月期2Q	57,649,868株	2020年2月期	57,649,868株
② 期末自己株式数	2021年2月期2Q	1,170,979株	2020年2月期	1,170,812株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年2月期2Q	56,478,999株	2020年2月期2Q	56,568,523株

※ 四半期決算短信は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料につきましては、2020年10月13日（火）に当社ホームページに掲載いたします。

当社は、新型コロナウイルス感染防止拡大の観点より、電話会議システムを使用したアナリスト向け四半期決算説明会（電話会議）を2020年10月15日（木）に開催する予定です。

当日使用する四半期決算説明会資料につきましては、同日に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
3. 補足情報	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2020年3月1日から2020年8月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により社会・経済活動が制限され、国内総生産(GDP)が統計史上最大の下落幅を記録するなど企業の生産・投資活動や個人の消費行動へ大きな影響を及ぼしました。緊急事態宣言解除後も社会・経済活動の回復へ向けた動きは鈍く、先行きは極めて不透明な状況が続いております。

当社グループの主力事業である食品小売業界におきましても、外出自粛に伴ういわゆる「巣ごもり消費」による内食需要が増加した反面、景気後退による更なる消費マインドの停滞から節約志向、低価格志向の傾向は強まってきており、経営環境は一層厳しくなることが見込まれております。

このような状況のもと、当社はお客様並びに従業員の安全・安心や健康面を最優先に様々な感染拡大防止策を講じた上で、地域のライフライン企業として営業を継続してまいりました。緊急事態宣言発出中は店舗内の混雑緩和のため特売広告などを一時中止いたしました。また、新型コロナウイルスとの共存を前提とした新しい生活様式、いわゆる新常态

(ニューノーマル)が浸透していく中、お客様の強まる価格志向に対応していくために価格政策を見直し、販売促進活動も再開いたしました。また感染拡大防止策の一つとして非接触型の決済手段へのニーズが強まる中、アークスRARAカードのプリペイドカード会員が継続的に増加した結果、当第2四半期連結会計期間末における当社グループのキャッシュレス決済比率は対前年同期比9.0%増の32.7%となりました。

2019年10月に本格稼働した新基幹システムにつきましては、グループシナジーを一層向上させることを目指して情報分析機能の活用に取り組んでおり、今後は本システムを活用した業務改革(いわゆるデジタルトランスフォーメーション=DX)を推し進め、グループの全体最適と事業子会社の部分最適の両立を図ることで、システムの導入効果を確実に創出してまいります。

また、当社及び株式会社バローホールディングス、株式会社リテールパートナーズの3社間で結成した「新日本スーパーマーケット同盟」(以下「本同盟」といいます。)につきましては、商品分科会において加工食品メーカー様と「No.1プロジェクト」企画を実施した結果、販売実績日本一を達成した複数の商品を創出することができました。加えて本同盟の企画商品の販売や生鮮食品の共同仕入・産地交流を推進するなど様々な施策を展開してまいりました。その他、本同盟の購買規模を活用した消耗資材、店舗什器・備品などのコスト削減に本格的に着手するとともに、次世代のデジタルシフトに向けて、ICT(情報通信技術)を活用した次世代店舗の研究などにも取り組みの幅を広げております。今後も各社の経営資源や経営ノウハウを有効活用し、地域に密着した独立系食品流通企業の結集軸として本同盟の提携メリットを創出していくことで、地域のお客様のご期待に一層お応えしてまいります。

店舗展開につきましては、(株)道北アークスは2020年5月に「スーパーチェーンふじ」の小型店3店舗を閉鎖した一方で、同年6月に競合他社から譲り受けた店舗跡へ「スーパーアークス豊岡3条」を新規出店いたしました。また(株)伊藤チェーンが宮城県名取市が推進する東日本大震災復興整備計画に係る「閑上地区まちなか再生計画区域」内に「イトーチェーンゆりあげ食彩館」を同年7月に新規出店した結果、当第2四半期連結会計期間末における当社グループの総店舗数は343店舗となりました。その他、(株)ラルズ1店舗、(株)ベルジョイス3店舗、(株)道北アークス1店舗、(株)東光ストア1店舗の計6店舗の改装を実施いたしました。

組織面につきましては、今後のグループ業容拡大に向けてグループ内経理作業の集約並びに効率化を強化するため、既存の当社事務棟に続く事業所として、2020年5月に「アークス事務棟2号館」を開設いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,821億48百万円(対前年同期比9.9%増)となりました。新型コロナウイルス感染症の影響による内食化傾向が続く中、お客様の来店頻度が減少する一方でまとめ買いをされる傾向が継続していることから、スーパーマーケット事業子会社9社の既存店売上高の対前年同期比は6.8%増となりました。第1四半期連結会計期間は緊急事態宣言の発出などによりお客様が不要不急の外出を自粛したことから内食需要が大きく伸びましたが、第2四半期連結会計期間はグループ内でも地域によって差があるものの、買い物傾向は徐々に感染症発生前の状況に戻りつつあります。また、緊急事態宣言発出中に特売広告・ポイント倍増セールなどの販促企画を自粛したこと、及び前期の第3四半期連結会計期間より連結子会社となりました(株)伊藤チェーンの業績貢献などもあり、営業利益は103億94百万円(対前年同期比74.0%増)、経常利益は113億90百万円(対前年同期比65.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は76億19百万円(対前年同期比69.0%増)と増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比較して、195億99百万円増加し、2,519億31百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が164億47百万円、投資有価証券が51億68百万円増加した一方で、未収入金が15億65百万円減少したことなどによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比較して、89億98百万円増加し、967億49百万円となりました。この主な要因は、買掛金が59億91百万円、未払法人税等が17億39百万円、及び未払消費税等が11億36百万円増加したことなどによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末と比較して、106億円増加し、1,551億81百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が62億7百万円、その他有価証券評価差額金が42億42百万円増加したことなどによるものです。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末より0.6ポイント低下し61.6%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）の残高は、前連結会計年度末と比較して、163億76百万円増加し、605億88百万円（対前年同期末比73億51百万円の増加）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、224億19百万円（対前年同期比30.1%増）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益112億66百万円、減価償却費40億20百万円、仕入債務の増加額59億89百万円、及び法人税等の支払額16億61百万円などによるものです。また、得られた資金が増加した要因は、税金等調整前四半期純利益の増加などによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、37億40百万円（対前年同期比13.8%減）となりました。これは主に、新規出店や店舗改装等に伴う有形固定資産の取得による支出26億98百万円、及びシステム関連投資に伴う無形固定資産の取得による支出8億36百万円などによるものです。また、使用した資金が減少した要因は、システム関連投資に伴う無形固定資産の取得による支出の減少などによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、23億25百万円（対前年同期比13.7%減）となりました。これは主に、長期借入れによる収入34億円、長期借入金の返済による支出29億75百万円、及び配当金の支払額14億10百万円などによるものです。また、使用した資金が減少した要因は、自己株式の取得による支出の減少などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月期の業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績等を踏まえ検討した結果、2020年4月17日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日発表の「第2四半期累計期間(連結・個別)業績予想と実績との差異及び通期(連結・個別)業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	44,258	60,705
売掛金	4,239	4,867
たな卸資産	15,070	14,902
未収入金	6,055	4,489
その他	2,717	2,593
貸倒引当金	△63	△25
流動資産合計	72,277	87,533
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	44,124	44,443
土地	68,283	68,955
リース資産(純額)	4,678	4,400
その他(純額)	4,932	4,385
有形固定資産合計	122,020	122,184
無形固定資産		
のれん	420	374
ソフトウェア	12,121	11,791
ソフトウェア仮勘定	80	80
その他	342	343
無形固定資産合計	12,965	12,589
投資その他の資産		
投資有価証券	7,492	12,661
敷金及び保証金	10,947	11,133
繰延税金資産	5,555	4,825
その他	1,356	1,015
貸倒引当金	△283	△13
投資その他の資産合計	25,069	29,623
固定資産合計	160,054	164,397
資産合計	232,332	251,931

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	29,094	35,086
短期借入金	6,587	5,516
リース債務	1,360	1,258
未払金	6,241	5,903
未払費用	3,132	3,333
未払法人税等	2,401	4,140
未払消費税等	592	1,729
賞与引当金	2,435	3,109
ポイント引当金	3,625	4,024
その他	1,986	1,777
流動負債合計	57,458	65,879
固定負債		
長期借入金	10,084	11,078
リース債務	4,752	4,470
退職給付に係る負債	5,924	5,603
役員退職慰労引当金	1,112	1,100
長期預り保証金	4,492	4,409
資産除去債務	3,626	3,699
その他	300	508
固定負債合計	30,292	30,869
負債合計	87,751	96,749
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,205	21,205
資本剰余金	24,996	24,996
利益剰余金	105,394	111,601
自己株式	△2,751	△2,751
株主資本合計	148,845	155,051
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,095	2,146
退職給付に係る調整累計額	△2,249	△2,096
その他の包括利益累計額合計	△4,345	50
非支配株主持分	81	79
純資産合計	144,580	155,181
負債純資産合計	232,332	251,931

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
売上高	256,673	282,148
売上原価	193,080	211,308
売上総利益	63,592	70,839
販売費及び一般管理費		
宣伝装飾費	2,252	1,629
店舗賃借料	3,384	3,512
ポイント引当金繰入額	3,539	3,597
役員報酬	330	329
給料及び手当	22,545	24,045
賞与引当金繰入額	2,986	3,172
役員退職慰労引当金繰入額	20	33
退職給付費用	476	606
水道光熱費	4,155	3,987
租税公課	1,355	1,407
減価償却費	3,047	4,016
のれん償却額	11	46
その他	13,513	14,061
販売費及び一般管理費合計	57,619	60,445
営業利益	5,973	10,394
営業外収益		
受取利息	26	24
受取配当金	113	110
持分法による投資利益	55	70
業務受託料	268	298
ポイント収入額	181	186
その他	356	415
営業外収益合計	1,001	1,106
営業外費用		
支払利息	73	78
その他	14	31
営業外費用合計	88	110
経常利益	6,886	11,390
特別利益		
固定資産売却益	8	3
保険解約返戻金	—	12
その他	3	—
特別利益合計	11	16
特別損失		
固定資産除売却損	45	103
減損損失	—	15
その他	11	20
特別損失合計	56	139
税金等調整前四半期純利益	6,841	11,266
法人税等	2,330	3,645
四半期純利益	4,510	7,621
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,508	7,619

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
四半期純利益	4,510	7,621
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,732	4,241
退職給付に係る調整額	60	153
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	1
その他の包括利益合計	△1,672	4,395
四半期包括利益	2,837	12,017
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,836	12,015
非支配株主に係る四半期包括利益	1	1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,841	11,266
減価償却費	3,050	4,020
受取利息及び受取配当金	△140	△135
支払利息	73	78
賞与引当金の増減額(△は減少)	522	671
ポイント引当金の増減額(△は減少)	375	398
売上債権の増減額(△は増加)	△856	△627
たな卸資産の増減額(△は増加)	132	169
仕入債務の増減額(△は減少)	6,666	5,989
未払消費税等の増減額(△は減少)	△1	1,135
その他	2,385	1,047
小計	19,049	24,015
利息及び配当金の受取額	138	138
利息の支払額	△69	△72
法人税等の支払額	△1,882	△1,661
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,235	22,419
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,864	△2,698
有形固定資産の売却による収入	226	5
無形固定資産の取得による支出	△1,755	△836
差入保証金の差入による支出	△34	△163
差入保証金の回収による収入	243	139
預り保証金の返還による支出	△111	△66
預り保証金の受入による収入	127	27
定期預金の預入による支出	△50	△96
定期預金の払戻による収入	—	46
その他	△120	△98
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,338	△3,740
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	100	△500
長期借入れによる収入	4,100	3,400
長期借入金の返済による支出	△1,072	△2,975
自己株式の取得による支出	△3,648	△0
配当金の支払額	△1,497	△1,410
その他	△675	△838
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,693	△2,325
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	10,203	16,352
現金及び現金同等物の期首残高	43,033	44,212
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	23
現金及び現金同等物の四半期末残高	53,236	60,588

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

前連結会計年度において非連結子会社でありました(有)ふっくら工房及び㈱ナイス・フーズは重要性が増したため、当第2四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

3. 補足情報

販売実績

当第2四半期連結累計期間

セグメントの名称		前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)		前年同期比 (%)
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
小売事業	食 品	215,842	84.1	238,542	84.5	110.5
	衣 料 品	849	0.3	922	0.3	108.7
	住 居 関 連	10,422	4.1	11,715	4.2	112.4
	テ ナ ン ト	6,950	2.7	6,856	2.4	98.6
	酒 類 等	19,427	7.6	20,890	7.4	107.5
	不動産賃貸収入等	2,615	1.0	2,630	0.9	100.6
	計	256,107	99.8	281,557	99.8	109.9
その他	観 光 事 業	28	0.0	5	0.0	18.5
	そ の 他 の 事 業	537	0.2	585	0.2	108.9
	計	565	0.2	590	0.2	104.4
合 計		256,673	100.0	282,148	100.0	109.9

(注) 1. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 前連結会計年度の第3四半期会計期間から小売事業の商品区分を一部変更したため、前年比較にあたっては、前第2四半期連結累計期間分を変更後の区分に組替えております。